# 学習指導要領

学校教育目標 豊かな心と優れた知力をもち、心身ともにたくましく生きる児童 ・思いやりのある子 ・自ら学び考える子 ・心も体もたくましい子

### 学校の現状について

(昨年度の実態・アンケートより)

- ・小規模校、少人数学級のため、児童がお となしく、自分の考えに自信がもてない。
- ・対話的な場面では、児童は考えを発表す るだけで、内容の広がりや深まりがない。
- ・児童の学習後の充実感が薄い。
- ・外国語活動における小中連携が充実して いる。
- ・授業での ICT 活用が上手な教員がいる。
- ・プログラミングの授業について知りたい。
- ・新しい観点での評価が不安である。
- ・授業とコミュニティ・スクールとの関わ りが増えてきた。

- 2 課題とその原因の分析について
- ア. 児童が授業に主体的に取り組むような、必要感のあ る課題設定ができるとよい。
- イ. 効果的に対話的な場面を設定して、児童に他者の考 えを知る必要感を高めさせるとよい。
- ウ. 授業者が対話をコーディネートして、児童や教職員、 地域の人々等へと対話対象を広げる必要がある。
- エ、めあてを意識したふり返りができるように、単元や 単位時間の構成を「はばプラⅡ」を活用して授業改 善する必要がある。
- オ、二中との小中連携をさらに充実させていく。
- カ. ICT を活用した授業づくりや評価に関する研修を行 う必要がある。
- キ. 地域素材や人的、物的資源をさらに活用して、授業 を充実させる必要がある。

実 践 結 果 を 次 年 度 に 継 承 す

る

#### 目標(成長した子どもの姿)と手立てについて 授業改善研修 (ア・イ・ウ・エ)

○目標

自分の考えを広げたり深めたりできる児童の育成 ~算数科におけるはばプラⅡを活用した授業づくりを通して~

- ○具体的な手立て
- ・児童が主体的に学ぶための課題設定の工夫
- ・児童が学びを広げたり深めたりするための対話的な場 面の工夫
- ・何をどのように学んだかを振り返る場面の工夫
- ・コミュニティ・スクールを活用した授業づくり

## |資質向上研修| (オ、カ、キ)

- ・二中との合同研修(算数・数学、外国語、 理科の授業づくり、生徒指導、家庭学習)
- ・評価に関する研修
- ・ICT 活用、プログラミング授業
- ・学級経営(アサーショントレーニング)
- ・学校運営協議会の熟議への学級担任の参加
- ・いじめ防止
- ・服務規律の確保
- ・アレルギー児童への対応
- ・支援が必要な児童への指導



・学校教育の指針

・はばたく群馬の指導プランⅡ

研修のスケジュール <別紙>



#### 実践する。

## 授業改善研修

- <成果と課題 >
- ①有効だった手立てについて
- ○具体的な事象提示から課題を発見させる場面設定の工夫
- ○教師が児童や児童相互の対話をつなぐ、対話的な場面の工夫
- ②これまでの取組の成果と課題について
- ○一人一授業では、授業のテーマ(具体的な手立て)を絞って授 業づくりや参観をしたことで、授業研究会が短時間で効果的に行 えた。
- ○対話を取り入れた算数科授業の流れが理解できた。
- ●対話の場面(交流の場)や対話の方法(交流の仕方)が、一人一 人の考えを広げ深めるために本当に有効であったのかを確かめる|かった。 必要がある。
- ●効果的な対話のための発達段階に応じた話型や目標を設定する。
- ●児童が主体的に学ぶためのゴールを見据えた課題づくりをする。

## 資質向上研修

- <成果と課題>
- ○有効だった研修
- ・「服務規律の確保」では、具体的な事例 や学校の組織力の大切さを実感できた。
- ・二中との合同研修会では、模擬授業から 実践的な道徳教育を学び、交流もできた。 ·CS との関わりについて、模擬熟議で CS 継続のためのアイデアを出し合えた。
- ・ICT 機器活用の授業を参観したことで、 ICT 機器が児童の理解を助けることが分
- ●課題が残った研修
- ・一人一台端末導入の Web 研修は時間帯が 忙しく視聴が難しい。
- ●ICT 機器の実践的な研修が必要である。

<子どもの成長についての検証方法> ・児童の | 年間の成長の姿 ・CRT の数値 ・学校評価の結果

館林市立第四小学校

_		ja well at early	館林市立第四小学校
月	日	授業改善研修	資質向上研修
4	3	推進:   年間の研修の方向性、目標、組織、授業者全体①:   年間の研修の方向性、目標、組織、授業者の共通理解	「学力向上のための諸活動と計画について」 「家庭学習について」(学力向上主任) 「いじめ防止について」(生徒指導主任)
	22 23	(在宅勤務のため2日間実施)	全体:「アナフィラキシー研修会」(養護教諭) 全体:「アナフィラキシー研修会」(養護教諭)
5	1	人什么,日北十旧立体,日从44个了上一页共享997年	全体:「コミュニティ・スクールについて」(校長) 全体:「相手を理解するためのコミュニケーション術」(SC) 全体:「服務規律について」(服務規律委員長)
		全体②:目指す児童像・具体的な手立ての共通理解 全体③:前期指導主事訪問日程についての共通理解	全体: 「SOS の出し方に関する教育について」(教務主任)
6	18	全体④:通知表の保護者向け資料の作成について 全体⑤:一人一授業、授業研究会の方法について 個:一人一授業の実践、授業研究会 ◆4年   組 理科 (主体的に学ぶための課題設定の工夫①)	全体:「通知表の評価の観点と到達目標について」 (教務主任)
	29	○前期指導主事訪問 (研修の概略説明、各授業参観)	
7		個:一人一授業の実践、授業研究会 ◆5年   組 算数 (学びを広げたり深めたりするための対話的な場面のエ夫①)	
	6 20	全体⑥:前期指導主事訪問の反省・改善策 全体⑦:   学期の研修のまとめ、2学期に向けて	全体:「服務規律の確保」(市教委主幹)
8	19		全体:「道徳研修会」(二中との合同研修会)
9	7 16 17	全体8:2学期の研修の予定	全体:学習評価の仕方について(教務主任) Web:一人一台端末の導入準備(導入編) Web:一人一台端末の導入準備(運用編)
10	5 19 20 21	全体⑨:指導案検討①	全体:「コミュニティ・スクールとの関わりについて」(CSD) Web:一人一台端末導入に向けた安全教育(低中学年) Web:一人一台端末導入に向けた安全教育(高学年)
11	2   6   30	全体⑩:指導案検討② ブロック別 ○中期指導主事訪問日 (研究授業、授業研究会、校内研修について) ◆6年   組 家庭科 上学年 3年   組 英語活動 下学年 4年   組 算数 全員参観 全体⑪:中期指導主事訪問の反省・改善策	
12	3	全体②:一人一授業の授業研究会 個:一人一授業の実践 ◆   年   組 算数	ブロック:「学校運営協議会熟議」参加
	14 24	(何をどのように学んだかを振り返る場面の工夫①) 全体③:ブロック:2学期の研修のまとめ	全体:「ICT を活用した授業」 全体:「CRT について」 (学力向上主任) 全体:「支援が必要な児童への指導」(特別支援 C)
ı	18	全体(4): 一人一授業の授業研究会 ◆4年   組 算数 (主体的に学ぶための課題設定の工夫②)	全体:「服務規律について」(服務規律委員長)
2	I	全体(5): 一人一授業の授業研究会 ◆2年 I組 算数	全体:「CRT 分析の仕方について」(学力向上主任)
	16	(学びを広げたり深めたりするための対話的な場面の工夫②) 全体⑯:3学期、1年間の研修のまとめ	全体:「年間指導計画の作成・指導要録の書き方について」 (教務主任)
3	22	全体①:来年度の方向性について	(47477 工 117)